

『島田市ゆめ・みらい百人会議』

第5分科会「教育・子育て支援グループ」における提案書

【第5分科会提案書付帯私案】

染谷絹代・島田市長の発案による島田市の向上発展のために市民参加の「島田市ゆめ・みらい百人会議」が結成されテーマにより7分科会が構成され、第5分科会「教育・子育て支援」に関しては提案書が作成されていますが、この提案書を一層現実的に実行するためには一面で行政の取り組みと同時に地元企業・団体における「地域社会への貢献」という面でのご協力を依頼し、賛同実行していくことが肝要であると考えます。

実際に、日本全国における大きな問題点になっている「少子高齢化」、と同時に各地における在住人口減少に目が向けられています。これらの問題点への解消、または改善のためへの施策として全国での住民人口が増加している地域をみると、第一に「子育てへの安心」度合いが優劣を分けていることが分かります。この主題につきましては「提案書」に報告されていますから本稿では省略しますが、当分科会が実際に各学童保育を訪問して、夫婦共稼ぎや片親家族の問題点の放課後の子供の委託に関して、地域小学校区ではそれなりに家族から委任を受けて預かる仕組みは近年充実してきていますが、現場での担当者の要望の中に注目する点は、只単に子供を預かるだけでなく、この時間を活かして子供たちに広く世間を知ってもらう行事が実行できればという発言を受けました。そして一部の子供たちが親の引取りの都合で夜になることへの対策としての搬送、現場的な学習のための講

師の充実のためへの費用等が必要になってくるが、現状では親の負担に頼るには課題となっているために、下記の提案をまとめてみました。

① 地元企業・団体への地域の「教育・子育て支援」事業への支援体制の構築

[趣旨]

地元企業、団体におかれましては経営者、従業員の採用により大きな貢献をされていますが、さらに島田市の将来へ向かって、また政府が提唱している地方創生、国家地盤強化への推進には「人」が重要な要素になっています。企業の社会への貢献活動としての協力をお願いいたします。

静岡県内、島田市には各種団体が存在しており、それなりに目的をもって組織運営されています。例えばもっとも基本方針として掲示している世界的組織である「ロータリークラブ」は【職業を通して社会に貢献する】としています。地域における企業活動を活発に行い企業経営に専念する人々に、企業はその存在する地域への地縁人脈を深めることも活動の基本となることを自覚する経営者であれば、地元の将来のためへの公的な支援を期待することも市政を充実させる一助になると推測できます。従って特に行政における市民生活への具体的支援のための基金を作ることも具体的な市政の質的向上に貢献できると考えられます。

[方法]

子育て・教育への充実を計り親子が安心して生活を送るための施策は十分とはいえないまでも相当のところまで行政、学校のご努力で一定の線にまで来ています。それをさらに充実させて教育面での+αのために必要な費用のご負担に期待する。

1.「島田市ゆめみ・みらい基金（仮称）」の設立。 島田市認可を条件とする。

2.基金の供出は1口1万円として口数の制限はしない。

3.基金の使途【案】

第一段階としてマイクロバス運行： 現場からの要望である放課後の数時間を地元を中心として社会勉強への訪問

-1.放課後（数時間）

島田博物館 川越の宿 島田古跡、史跡 大井川流域の名所 静岡空港

-2.土日・祭日（半日）

自衛隊基地 浜岡原子力発電所 静岡護国神社 県立美術館 久能東照宮

静岡県立美術館 芹沢銈介美術館 可睡斎

4.設備と維持費

-1.マイクロバス（コミュニティバスクラス）600万円購入の場合

-2.維持費

人件費 運転手2 助手2 月次70万円

運転手はバス会社定年退職者を対象として運転手の素質管理はバス会社に依頼する。

消耗費 燃料等 月次 30 万円 月次計 100 万円

-3.特殊技能専門職教師等の費用 月次 50 万円

5. 基金の年間応募金額

バス4年間購入必要資金 年間 150 万円

諸経費 年間 1,800 万円 年間必要資金≒2,000 万円

6. 参加企業の紹介 「広報しまだ」 事業活動の報道：FM 島田

7. 基金募集 1 口 ¥10,000/年

個人、団体、企業より 1 口以上

《参考》島田市の各種団体

島田商工会議所 島田市日之出町 4-1

島田商工会 島田市金谷本町 2014-2

島田鉄工協同組合 島田市坂元 1377-11

大井川農業協同組合 島田市御飯屋町 7493-2

島田ロータリクラブ 島田市中心街 11-3 島田自家用自動車協会内

島田ライオンズクラブ 島田市日之出町 4-1 島田商工会議所内

島田青年会議所 島田市大津通り 1965 サンライズ島田 3-B 号

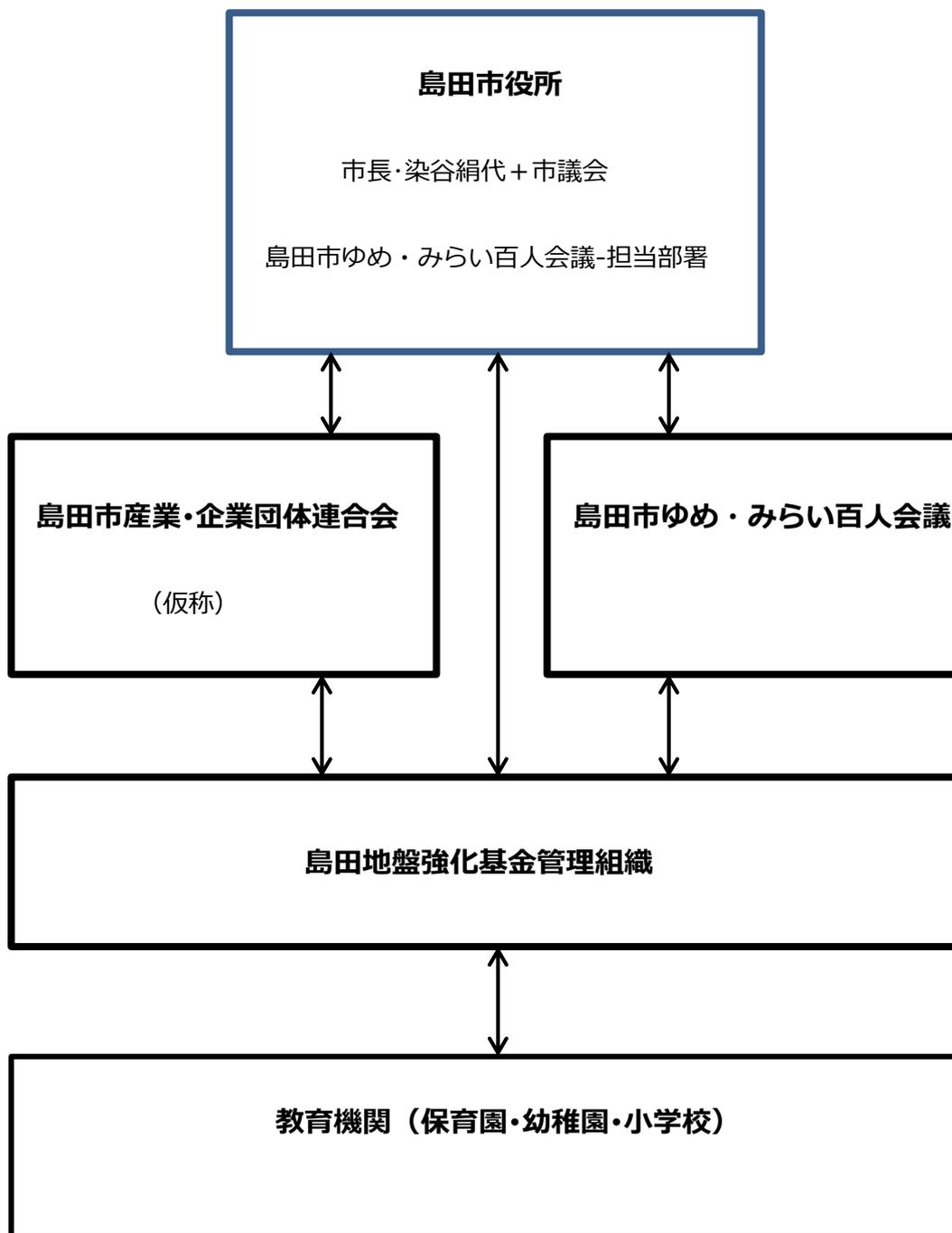
②島田市民挨拶運動

現在、東町では大津谷川の支流である栃山川の両岸を「東町1丁目あいさつ通り」と銘打っての表札が幾つか掲示されており、さらに「六合コミュニティ緑道」として石碑に道路の意義を表示している。また静岡県等の公共団体から幾つかの表彰を受けていて花、樹木、小公園、小運動場が整備されていて市民の憩いの場ができている。

東町は「あいさつクラブ」が結成されており、市民活動で道路が整備されている。これらの活動は島田市立六合東小学校の教育活動に反映されていて児童が進んで「こんにちは！」の挨拶がでてくる。この運動を東小学校学区内だけでなく全市に拡散することが望ましく、それはまた島田市の発散する絆の運動として昇華していきたい。

以 上

【付記資料】 島田市地盤強化基金組織・私案



島田市ゆめ・みらい百人会議 教育・子育て支援グループ 岡田 宏司 作成